

別所地区市政懇談会 議事録

- 1 日 時 令和4年10月23日（日）
午後6時00分～午後7時10分
- 2 場 所 別所町公民館 大会議室
- 3 参加者 別所地区 30人
市 18人（市長、副市長、副市長、教育長、総合政策部長、総務部長、市民生活部長、健康福祉部長、産業振興部長、都市整備部長、上下水道部長、議会事務局長、消防長、教育総務部長、教育振興部長、道路河川課長、建築住宅課長、学校教育課長）
オブザーバー 2人
傍聴者 2人

4 内 容

(1) 地区からの意見・提言及び市からの回答
別紙のとおり

(2) 意見交換

ア 別所町全体の道路ビジョンについて

（東播磨南北道完成後の交通安全対策及び道路整備）

【別所地区】

下石野から相野への道路は非常に道幅が狭く、ヒビや穴がある。そのような状況下で、東播磨南北道が完成すると、市は下石野相野線に車を誘導することはないと言われたが、完成後は自然に増加すると予想される。そこで道路の更なる舗装をお願いしたい。

また、相野地区の勉強会において、当該地区の特別指定区域の指定は困難であると聞いている。そうであるならば、道路だけでもきれいにしていきたいということが地区の要望である。

【都市整備部長】

これまでも道路や路肩の痛みがひどい状態のときには、市で補修を行い、様々な対策を実施してきた。今後も道路の維持管理はしっかりと実施していく。

東播磨南北道の完成後、一番の問題は、宗佐の交差点の渋

滞と考えている。そこを避けるため、抜け道とされることが考えられるが、来春に宗佐の交差点が改修供用予定となっている。その状況を見ながら、今後必要な対策を考えていく。

また、相野地区については、勉強会も開始しており、そこでの内容等も踏まえ、今後必要となれば、様々なことを検討していく。

【別所地区】

下石野から相野に抜ける道路は、ポイ捨てなど不法投棄が多い状態である。警察のパトロールの強化が必要であると考ええる。

【市長】

パトロールについては、兵庫県警察に伝えていく。東播磨道について、令和5年春には、八幡三木ランプが開通し、令和6年度中には、北播磨医療センターまで全線開通の予定である。その交通量等を見ながら、必要な対策は講じていく。

また、三木スマートインターチェンジは、令和6年度中の開通を目指している。交通量の大きな変化が想定されると考えており、これについても、状況を見て、必要な対策を講じていく。

イ 別所町全体の道路ビジョンについて

(大山バイパス交差点から興治地区県道への市道の拡幅)

【別所地区】

国道175号接続部の狭窄箇所の解消について、約20年間手つかずの状態である。昨年度もお聞きしているが、本当に実施できるのか。

【都市整備部長】

現状は、用地取得がまだできていない。用地取得に向け、県、市連携をし、解決策を模索しながら早期に用地取得できるように進めているところである。

【別所地区】

まずは、二股池の道路だけでも拡幅できないか。

【都市整備部長】

当該路線については、現在、拡幅工事の予定はない。この路線の整備は国の補助金を活用し、全線対象で通り抜けが可

能な道路として整備する必要があると考えている。

ウ 太陽光発電施設周辺の整備について

(別所郵便局付近から湯庵付近までの東西の側溝整備)

【別所地区】

東西の側溝整備は以前から要望しているものの、なかなか実行されないが、いつ実行できるのか。また、T字路の最上部の土砂の対応は市で実施してもらえるのか。

【都市整備部長】

側溝整備については、今年度、南北の側溝整備を実施したところである。残りの部分についても、整備の必要性を認識してはいるが、他地域の状況も勘案し、検討していくのでご理解いただきたい。T字路最上部の土砂については、早急に確認し、状況に応じ、太陽光設置業者にも確認をとり、対策を検討する。

【別所地区】

太陽光設置に伴い山を削り、対策を講じているが、既に土砂がたまっている。今後、雨が多く降ると災害が起こりうるので側溝整備を早期に実施していただきたい。

【道路河川課長】

昨年、水害が心配ということで、まず東西よりも南北の側溝の整備をして欲しいという地元のご意見をいただき、今年度実施した。東西の側溝整備については、引き続き検討し、進めていく。

【別所地区】

南北を優先されたが、地域としては、東西と南北を一緒に整備して欲しいと要望してきた。予算の関係もあるが、引き続き整備をお願いしたい。

【道路河川課長】

一度に全ての整備を実施するのは困難な状況であり、雨が降った時の現地を確認し、道路の冠水状況などから今後の整備について検討していく。

エ 太陽光発電施設周辺の整備について

(別所公民館西側から下流水路の整備)

【別所地区】

別所町公民館までの側溝が整備されたことにより、今度はより下流の側溝の幅が狭い箇所が、雨が降ると田んぼに溢れるときがあるので、下流の整備も検討していただきたい。

【道路河川課長】

公民館までの側溝を整備する前に説明させていただいたが、当該整備は上流と下流を結ぶ工事であり、現状と比べて大幅に水量が変わることはないので、整備を行った。下流については、ご意見のとおり田んぼ等への水の流入も考えられる場所ではある。しかしながら、農地に設置された水路は小さくなっているように見えるが、土の部分で受けることができ、ご指摘の箇所は一部かさ上げも実施している。下流の整備については、今後の状況を見て検討していく。

【別所地区】

太陽光発電の工事では、盛土、切土による地形変化が起きている。それによる水の流入に、改良された新しい水路で対応できるか不安に感じる。業者から盛土、切土をしているので、水の流入を食い止めるために入り口に土嚢を積んでいるという話があった。やはり業者であっても、水の流入を予想していると考え。そういう状況であるので、公民館までの整備で終わることなく、要望通り、下流までの水路の整備をしていただきたい。

【都市整備部長】

太陽光発電施設の整備による下流への影響については、事業者が調整池を設置しており、これまで以上に大きな負荷がかかることはないと考えている。今後の降雨の状況等を確認しつつ、下流の水路整備について検討していく。

【別所地区】

公民館東側の貯水池には、公民館東側の排水の多くが流入する。そのような状況において、池の泥上げをしていただいたが、大雨の時など、貯水池としての機能は十分なのか。もし、大雨のため、オーバーフローし、下流へ流れ出ては困るので、下流水路の整備をお願いします。

【道路河川課長】

貯水池の今回の浚渫は、暫定的にできる範囲でしたもので

あり、残りの部分の浚渫工事は、公民館で計画し、対応していく。

オ 太陽光発電施設周辺の整備について
(通学路の安全確保)

【別所地区】

公民館西側 T 字路については、以前から曲がりやすく、また、朝は子どもの通学、通勤の車など危険な状況である。このままではいつ何時、事故が起こるか分からない状況であるので、改善していただきたい。

【道路河川課長】

この T 字路については、地域と相談させていただき、ラバーポールを設置したところである。また、道を拡幅すると、それにより車を呼び込むことになるのではという意見もある。

通学路については、道路の物理的な対策だけではなく、警察の取り締まりの強化や、通学路のあり方を含め、検討していく。

【市長】

ご要望のあった整備などは当然進めていかなければならないが、一点、ご理解いただきたいことは、全市的に様々な要望をいただき、その中で優先順位を付け、実施している。越水対策としての水路整備においても、田畑も非常に大切ではあるが、民家周辺の越水対策とであれば、民家周辺を優先するなど、全体を見て実施していくことには、ご理解いただきたい。